

令和7年度 東京都立新宿山吹高等学校 通信教育実施計画

教 科	芸術	レポート通数	6	対 象	全生徒
科 目	音楽Ⅰ	必要面接指導時数／実施時数	8 / 32		
単位数	2	試験	レポート内の課題として実施		

教科書	音楽Ⅰ Tutti +（教育出版）
学習書等	音楽Ⅰ Tutti +学習書（NHK出版）
その他	なし

○教科（ 芸術 ）の目標

知識及び技能	芸術に関する各科目の特質について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。
思考力・判断力・表現力等	創造的な表現を工夫して行ったり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	生涯を通じて芸術に親しみ、感性を高め、豊かな情操を培っていく。

○科目（ 音楽Ⅰ ）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	自学自習の中でも主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

○評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
添削課題の取組	添削課題の取組	添削課題の記述内容 計画的な自学自習が行われているか

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
5	楽譜の知識 声という大切な楽器 西洋音楽史（中世、バロック）	【知識及び技能】 様々な表現形態による歌唱表現 の特徴について理解させる。また、音楽の特徴と背景、他の芸術との関わりについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それを表現や鑑賞に活用させ、自分なりの工夫をしたり表現を味わったりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組ませ、豊かな情操を培う。	教科書 P12 108 110 114 146	第1回	5/27	第1・2回 「オリエンテーション」 第3・4回 「中世・バロック」	第9回 糸が紡ぎ出す音楽 ～弦楽器に親しむ～ 第10回 木と風の音楽 ～木管楽器に親しむ～
6	音符と休符 日本の民謡と芸能 世界の音楽	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解させる。また、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それを表現や鑑賞に活用させ、自分なりの工夫をしたり表現を味わったりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組ませ、豊かな情操を培う。	教科書 P46-49 104-107 146	第2回	6/24	第5・6回 「日本の民謡」 第7・8回 「世界の音楽①、②」	第14回 日本の民謡を歌う ～楽しく歌おう(3)～ 第32回 日本の楽器と合奏スタイル ～日本の音楽(4)～

7	楽譜の知識 西洋音楽史（古典派） イタリア歌曲	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解させる。また、音楽の特徴と背景、他の芸術との関わりについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それを表現や鑑賞に活用させ、自分なりの工夫をしたり表現を味わったりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組みせ、豊かな情操を培う。	教科書 P 22-27 111 147 149	第 3 回	7/22	第 9 ・ 1 0 回 「楽譜と調性」 第 1 1 ・ 1 2 回 「世界の音楽③」 第 1 3 ・ 1 4 回 「古典主義」 第 1 5 ・ 1 6 回 「前期のまとめ」	第 27 回 素晴らしいオペラの世界 ～西洋音楽の歴史と鑑賞(5)～ 第 23 回 調について～いろいろな調を知る～
10	音程 西洋音楽史（ロマン派、オペラ）	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解させる。また、音楽の特徴と背景、他の芸術との関わりについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それを表現や鑑賞に活用させ、自分なりの工夫をしたり表現を味わったりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組みせ、豊かな情操を培う。	教科書 P 110-112 128-130 146	第 4 回	10/28	第 1 7 ・ 1 8 回 「楽譜の知識・音程」 第 1 9 ・ 2 0 回 「ロマン派」 第 2 1 ・ 2 2 回 「オペラの歴史」	第 3 回 日本のポップスを歌う ～楽しく歌おう(1)～ 第 20 回 リズムを表現しよう ～音楽ワークショップ(2)～
11	音程、拍子、パートと演奏形態 近現代の音楽（印象主義） 日本音楽史	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解させる。また、音楽の特徴と背景、他の芸術との関わりについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それを表現や鑑賞に活用させ、自分なりの工夫をしたり表現を味わったりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組みせ、豊かな情操を培う。	教科書 P 96 103 146-147	第 5 回	11/26	第 2 3 ・ 2 4 回 「近現代の音楽①」 第 2 5 ・ 2 6 回 「日本音楽史」	第 29 回 イタリア語とフランス語の歌を歌う ～楽しく歌おう(6)～ 第 16 回 太陽に輝く音色 ～金管楽器に親しむ～
12	コードネーム 西洋音楽史のまとめ 近現代の音楽（バレー） オーケストラの楽器	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解させる。また、音楽の特徴と背景、他の芸術との関わりについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それを表現や鑑賞に活用させ、自分なりの工夫をしたり表現を味わったりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組みせ、豊かな情操を培う。	教科書 P 148	第 6 回	12/23	第 2 7 ・ 2 8 回 「近現代の音楽②」 第 2 9 ・ 3 0 回 「コードネーム」 第 3 1 ・ 3 2 回 「1年間のまとめ」	第 31 回 曲を作って楽譜を書いてみよう～音楽の伝達手段を知る～ 第 41 回 現代のポピュラー音楽～ジャズ・ロックそして…～

令和7年度 東京都立新宿山吹高等学校 通信教育実施計画

教科	芸術	レポート通数	6	対象	全生徒
科目	音楽Ⅱ	必要面接指導時数／実施時数	8 / 32		
単位数	2	試験	レポート内の課題として実施		

教科書	音楽Ⅱ 改訂版 Tutti +（教育出版）
学習書等	なし
その他	なし

○教科（芸術）の目標

知識及び技能	芸術に関する各科目の特質について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。
思考力・判断力・表現力等	創造的な表現を工夫して行ったり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	生涯を通じて芸術に親しみ、感性を高め、豊かな情操を培っていく。

○科目（音楽Ⅱ）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

○評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
添削課題の取組	添削課題の取組	添削課題の記述内容 計画的な自学自習が行われているか

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座 音楽Ⅰ)
5	日本歌曲を味わおう 独奏曲	【知識及び技能】 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めさせる。また、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わわせる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとする態度を養う。	教科書 P18 92-93	第1回	5/27	第1・2回 「オリエンテーション・独奏曲」	第9回 糸が紡ぎ出す音楽 ～弦楽器に親しむ～ 第10回 木と風の音楽 ～木管楽器に親しむ～ (NHK高校講座の「 <u>音楽Ⅰ</u> 」を見てください。(以下同じ))
6	箏と三味線 沖縄音階	【知識及び技能】 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めさせる。また、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わわせる。自己のイメージをもって創作表現を創意工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとする態度を養う。	教科書 P68-71	第2回	6/24	第3・4回 「箏と三味線」	第14回 日本の民謡を歌う ～楽しく歌おう(3)～ 第32回 日本の楽器と合奏スタイル ～日本の音楽(4)～

7	オペラ 五音音階 ロマの音階	【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的 背景、他の芸術との関わりについて理解させる。創意工夫を生かした創作表現をするために必要な手法を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わわせる。自己のイメージをもって創作表現を創意工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとする態度を養う。	教科書 P 82 108-109	第 3 回	7/22	第 5 ・ 6 回 「楽譜の書き方、オペラ史」 第 7 ・ 8 回 「舞台芸術作品」	第 27 回 素晴らしいオペラの世界 ～西洋音楽の歴史と鑑賞(5)～ 第 23 回 調について～いろいろな調を知る～
10	クラスの歌声を響かせよう アウフタクト シンコーション 異名同音 全音音階	【知識及び技能】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身につけさせる。創意工夫を生かした創作表現をするために必要な手法を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わわせる。自己のイメージをもって創作表現を創意工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとする態度を養う。	教科書 P 4-8 82 94-95	第 4 回	10/28	第 9 ・ 1 0 回 「協奏曲」	第 3 回 日本のポップスを歌う ～楽しく歌おう(1)～ 第 20 回 リズムを表現しよう ～音楽ワークショップ(2)～
11	フランスの歌 交響詩 作曲	【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解させる。音楽を形づくっている要素の働きについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わわせる。自己のイメージをもって創作表現を創意工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとする態度を養う。	教科書 P 36-37 97	第 5 回	11/26	第 1 1 ・ 1 2 回 「交響詩」	第 29 回 イタリア語とフランス語の歌を歌う ～楽しく歌おう(6)～ 第 16 回 太陽に輝く音色 ～金管楽器に親しむ～
12	歌曲 コードネーム 管弦楽 作曲	【知識及び技能】 創意工夫を生かした創作表現を するために必要な知識技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとする態度を養う。	教科書 P 24-31	第 6 回	12/23	第 1 3 ・ 1 4 回 「管弦楽曲」 第 1 5 ・ 1 6 回 「1 年間のまとめ」	第 31 回 曲を作って楽譜を書いてみよう～音楽の伝達手段を知る～ 第 41 回 現代のポピュラー音楽～ジャズ・ロックそして・・・～

令和7年度 東京都立新宿山吹高等学校 通信教育実施計画

教科	芸術	レポート通数	6	対象	全生徒
科目	美術Ⅰ	必要面接指導時数／実施時数	8 / 32		
単位数	2	試験	作品課題として実施		

教科書	高校生の美術1（日本文教出版）
学習書等	高校生の美術1 学習書
その他	なし

○教科（芸術）の目標

知識及び技能	芸術に関する各科目の特質について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。
思考力・判断力・表現力等	創造的な表現を工夫して行ったり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	生涯を通じて芸術に親しみ、感性を高め、豊かな情操を培っていく。

○科目（美術Ⅰ）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

○評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
添削課題の取組	添削課題の取組	作品課題の取組状況 添削課題の記述内容 計画的に自学自習に取り組んでいるか

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
5	デッサンをしよう	【知識及び技能】 造形の要素の働きを理解させる。 表現方法を創意工夫し、主題を追求させる。 【思考力、判断力、表現力等】 感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、形態や色彩、構成などについて考え表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に絵画・彫刻の表現の創造活動に取り組む姿勢を涵養する。	教科書 P103 132-133	第1回	5/27	第1・2回 「静物デッサン_色鉛筆」 第5・6回 「静物デッサン_パステル」 第15・16回 「静物デッサン_コンテ」	第5回 光と影 第1回 アートって何？
6	色と画材について	【知識及び技能】 意図に応じて材料や用具の特性を生かすための知識技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、形態や色彩、構成などについて考え表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に絵画・彫刻の表現の創造活動に取り組む姿勢を涵養する。	教科書 P150-154	第2回	6/24	第3・4回 「ペンアート_ゼンタング」 第11・12回 「水墨画」	第4回 色彩と感情 第3回 鑑賞
7	遠近法を使う	【知識及び技能】 造形の要素の働きを理解させる。表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表現させる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や条件等をふまえて主題を生成させ、創造的な表現をさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に絵画・彫刻の表現の創造活動に取り組む姿勢を涵養する。	教科書 P17	第3回	7/22	第7・8回 「遠近法_屋内」 第9・10回 「絵画技法_モダンアートテクニック1、2」 第13・14回 「絵画技法_モダンアートテクニック3、4」	第7回 風景を描く

10	明度分解で描く・切り絵	【知識及び技能】 造形の要素の働きを理解させる。表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表現させる。 【思考力、判断力、表現力等】 デザインの機能や効果，表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に絵画・彫刻の表現の創造活動に取り組む姿勢を涵養する。	教科書 P109-111 130	第4回	10/28	第17・18回 「静物デッサン_色鉛筆」 第21・22回 「静物デッサン_コンテ、pen」	第4回 色彩と感情
11	印象派とその後の画家たち	【知識及び技能】 造形の要素の働きを理解させる。造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風、様式などでとらえることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に絵画・彫刻の表現の創造活動に取り組む姿勢を涵養する。	教科書 P145	第5回	11/26	第23・24回 「遠近法で描く」 第31・32回 「絵画技法：空を描く」	第7回 風景を描く 第9回 日本美術
12 ～ 1	彫刻・ペーパークラフトによる立体表現	【知識及び技能】 造形の要素の働きを理解させる。表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表現させる。 【思考力、判断力、表現力等】 感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、形態や色彩、構成などについて考え表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に絵画・彫刻の表現の創造活動に取り組む姿勢を涵養する。	教科書 P104-115	第6回	12/23	第19・20回 「絵画技法：モダンテクニック1・2」 第25・26・27・28回 「水墨画」 第29・30回 「絵画技法：モダンテクニック1・2」	第5回 光と影 第3回 鑑賞

令和7年度 東京都立新宿山吹高等学校 通信教育実施計画

教 科	芸術	レポート通数	6	対 象	全生徒
科 目	美術Ⅱ	必要面接指導時数／実施時数	8 / 32		
単位数	2	試験	作品課題として実施		

教科書	高校生の美術2（日本文教出版）
学習書等	なし
その他	なし

○教科（ 芸術 ）の目標

知識及び技能	芸術に関する各科目の特質について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。
思考力・判断力・表現力等	創造的な表現を工夫して行ったり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	生涯を通じて芸術に親しみ、感性を高め、豊かな情操を培っていく。

○科目（ 美術Ⅱ ）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

○評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
添削課題の取組	添削課題の取組	作品課題の取組状況 添削課題の記述内容 計画的に自学自習に取り組んでいるか

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 （NHK高校講座 美術Ⅰ）
5	絵画の役割と写真の発明	【知識及び技能】 造形の要素の働きを理解させ、造形的な特徴を基にイメージや作風をとらえさせ、主題に合った表現方法を創意工夫するための知識技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 主題に応じた表現形式を考え、個性豊かに創造、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとする態度を涵養する。	教科書 P4 14 16 60	第1回	5/27	第1・2回 「静物デッサン_色鉛筆」 第3・4回 「絵画技法_モダンアートテクニック1、2」	第11回 写真と絵画 （NHK高校講座の「 <u>美術Ⅰ</u> 」をご覧ください。（以下同じ））
6	装飾的な美術	【知識及び技能】 造形の要素の働きを理解させ、造形的な特徴を基にイメージや作風をとらえさせ、主題に合った表現方法を創意工夫するための知識技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 美術作品の鑑賞に基づき、多様な背景をふまえて美術文化について考えさせ、美術的な見方感じ方を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとする態度を涵養する。	教科書 P6 22 44	第2回	6/24	第5・6回 「ペンアート_ゼンタングル（着色）」	第9回 日本美術
7	立体表現	【知識及び技能】 造形の要素の働きを理解させ、造形的な特徴を基にイメージや作風をとらえさせ、主題に合った表現方法を創意工夫するための知識技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 主題に応じた表現形式を考え、個性豊かに創造、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとする態度を涵養する。	教科書 P29 34 36	第3回	7/22	第7・8回 「絵画技法_モダンアートテクニック3、4」	第13回 テクノロジー

10	情報を伝えるデザイン	【知識及び技能】 造形の要素の働きを理解させ、造形的な特徴を基にイメージや作風をとらえさせ、主題に合った表現方法を創意工夫するための知識技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や社会を深く見つめたうえで、主題に応じた表現形式を考えさせ、個性豊かに表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとする態度を涵養する。	教科書 P42 43 68 76	第4回	10/28	第9・10回 「静物デッサン_色鉛筆」 第11・12回 「絵画技法：fluid art、モダンテクニック」	第15回 プロダクトデザイン
11	時間・動きの表現	【知識及び技能】 造形の要素の働きを理解させ、造形的な特徴を基にイメージや作風をとらえさせ、主題に合った表現方法を創意工夫するための知識技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や社会を深く見つめたうえで、主題に応じた表現形式を考えさせ、個性豊かに表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとする態度を涵養する。	教科書 P78	第5回	11/26	第13・14回 「ゼンタングル」	第16回 マンガとアニメーション
12	空間を作る	【知識及び技能】 造形の要素の働きを理解させ、造形的な特徴を基にイメージや作風をとらえさせ、主題に合った表現方法を創意工夫するための知識技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさを感じさせ、多様な視点から美術的な見方考え方を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとする態度を涵養する。	教科書 P60-61 80	第6回	12/23	第15・16回 「絵画技法：fluid art、モダンテクニック」	第1回 アートって何？ 第3回 鑑賞

令和7年度 東京都立新宿山吹高等学校 通信教育実施計画

教 科	芸術	レポート通数	6	対 象	全生徒
科 目	書道Ⅰ	必要面接指導時数／実施時数	8 / 32		
単位数	2	試験	作品課題として実施		

教科書	書道Ⅰ（東京書籍）
学習書等	書道Ⅰ学習書（NHK出版）
その他	なし

○教科（ 芸術 ）の目標

知識及び技能	芸術に関する各科目の特質について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。
思考力・判断力・表現力等	創造的な表現を工夫して行ったり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	生涯を通じて芸術に親しみ、感性を高め、豊かな情操を培っていく。

○科目（ 書道Ⅰ ）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

○評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
添削課題の取組	添削課題の取組	作品課題の取組状況 添削課題の記述内容 計画的に自学自習に取り組んでいるか

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
5	書写から書道へ 楷書	【知識及び技能】 用具用材の特徴と表現効果との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現にの特質に基づき、幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	教科書 P2-37	第1回	5/27	第1・2回 「孔子廟堂碑」 第3・4回 「雁塔聖教序」 第5・6回 「牛橛造像記 理論・実技」	第1回 「用具、用材、執筆法、筆の持ち方」
6	楷書	【知識及び技能】 用具用材の特徴と表現効果との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現にの特質に基づき、幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	教科書 P16-37	第2回	6/24	第7・8回 「鄭義下碑」 第9・10回 「蓬萊切」 第11・12回 「牛橛造像記 理論」	第2回 「書体、四大家、唐の時代の作品」
7	楷書	【知識及び技能】 用具用材の特徴と表現効果との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現にの特質に基づき、幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	教科書 P16-37	第3回	7/22	第13・14回 「蘭亭序 実技」 第15・16回 「蘭亭序 実技」 第17・18回 「風信帖」	第3回 「楷書の特徴」

10	行書	【知識及び技能】 用具用材の特徴と表現効果との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現にの特質に基づき、幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	教科書 P38-58	第4回	10/28	第19・20回 「争坐位文稿」 第21・22回 「蘭亭序」 第23・24回 「真草千字文」	第4回 「行書の特徴」
11	草書 隷書 篆書	【知識及び技能】 用具用材の特徴と表現効果との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現にの特質に基づき、幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	教科書 P59-73	第5回	11/26	第25・26回 「曹全碑」 第27・28回 「乙瑛碑」	第5回 「草書、隷書、篆書の特徴」
12	仮名の書	【知識及び技能】 用具用材の特徴と表現効果との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現にの特質に基づき、幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	教科書 P76-123	第6回	12/23	第29・30回 「泰山刻石」 第31・32回 「蜀素帖」	第6回 「かな、連綿」

令和7年度 東京都立新宿山吹高等学校 通信教育実施計画

教 科	芸術	レポート通数	6	対 象	全生徒
科 目	書道Ⅱ	必要面接指導時数／実施時数	8 / 32		
単位数	2	試験	作品課題として実施		

教科書	書道Ⅱ（光村図書）
学習書等	なし
その他	なし

○教科（ 芸術 ）の目標

知識及び技能	芸術に関する各科目の特質について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。
思考力・判断力・表現力等	創造的な表現を工夫して行ったり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	生涯を通じて芸術に親しみ、感性を高め、豊かな情操を培っていく。

○科目（ 書道Ⅱ ）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

○評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
添削課題の取組	添削課題の取組	作品課題の取組状況 添削課題の記述内容 計画的に自学自習に取り組んでいるか

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
5	書道Ⅰの復習 楷書	【知識及び技能】 「書道Ⅰ」で学習した書道の三分野それぞれの、線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字の古典や仮名の古筆、創造された作品の価値と根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 芸術科書道への関心・意欲を高め、主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	教科書 P2-11	第1回	5/27	第1・2回 「王羲之の書」 第3・4回 「三色紙」 第5・6回 「集王聖教序」 第7・8回 「祭姪文稿」	第1回 用具、用材、執筆法、筆の持ち方 (NHK高校講座の「 <u>美術Ⅰ</u> 」を見てください。(以下同じ))
6	行書	【知識及び技能】 漢字の書を構成するさまざまな要素や、行書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	教科書 P32-39	第2回	6/24	第7・8回 「祭姪文稿」第9・10回 「十七帖」 第11・12回 「書譜」	第3回 はじめは臨書から～漢字の書入門～

7	草書	【知識及び技能】 漢字の書を構成するさまざまな要素や、草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	教科書 P 26-31	第 3 回	7/22	第 1 3 ・ 1 4 回 「乙瑛碑」 第 1 5 ・ 1 6 回 「曹全碑」第 1 7 ・ 1 8 回 「多彩な印の表現」	第 1 2 回 躍動する 筆 ～草書～
1 0	隸書	【知識及び技能】 漢字の書を構成するさまざまな要素や、隸書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	教科書 P 20-31	第 4 回	10/28	第 1 9 ・ 2 0 回 「姓名印を刻してみよう」 第 2 1 ・ 2 2 回 「集 I 聖教序」	第 1 1 回 波磔の美 ～探してみよう 隸書～
1 1	篆刻 刻字	【知識及び技能】 漢字の書を構成するさまざまな要素や、篆刻の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	教科書 P 90-95	第 5 回	11/26	第 2 3 ・ 2 4 回 「書譜」 第 2 5 ・ 2 6 回 「温泉銘」 第 2 7 ・ 2 8 回 「温泉銘」	第 1 8 回 オリジナル印を作ってみよう ～篆刻～
1 2	仮名の書 書道史	【知識及び技能】 漢字の書を構成するさまざまな要素や、篆書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	教科書 P 54-89 96-103	第 6 回	12/23	第 2 9 ・ 3 0 回 「祭姪文稿」 第 3 1 ・ 3 2 回 「本阿弥切本古今和歌集」	第 1 9 回 手書きのぬくもり ～漢字と仮名の調和～